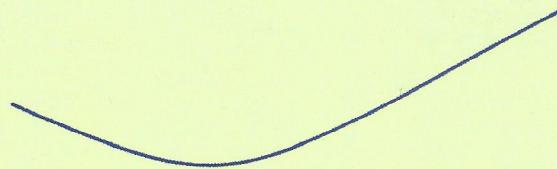
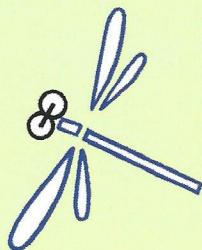


利用の手引き



里山体験 よろこびみつけ!!



大和郡山市立
里山の駅
野外活動センター

風とんぼ



===== 目 次 =====

◆はじめに ······	1
○運営目標 ○運営方針	
◆施設使用の規則・制限事項 ······	2
○禁止事項 ○ご協力いただく事項	
○間食・夜食について ○湯茶について	
◆健康・安全指導と事故防止 ······	3
○入所前 ○安全指導 ○事故防止	
◆申し込み手順 ······	4
○利用できる団体 ○問い合わせ ○受付開始日 ○利用できない日	
◆受付と事前打ち合わせ ······	5
○受付 ○事前打ち合わせと下見 ○事前研修	
◆入所から退所まで ······	6~7
○利用当日の打ち合わせ ○入所時	
○活動 ○食堂利用 ○入浴 ○朝夕の集い ○退所準備	
○退所式	
◆持ち物及び服装について ······	8
○団体の携行品 ○個人の持ち物 ○服装	
○持ち込んではいけない物	
◆清掃とごみ処理について ······	9
○清掃の要領 ○ごみ処理について	
◆シーツの受け取り・寝具のたたみ方 ······	10~11
◆主な活動プログラム紹介 ······	12~13
○野外活動・レクレーション ○創作活動 ○野外料理	
◆施設の概要 ······	14~19
○施設配置図 ○平面図1F・地階 ○2F ○3F ○創作棟	
◆ノロウイルス等の感染を予防するために ······	20
◆別紙一覧 ······	21

はじめに

里山の駅「風とんぼ」は、奈良県北西部の矢田丘陵の麓にあって、周辺は自然と人々の暮らし
が調和したところです。付近には田畠の中に社寺や史跡、スポーツ施設、県立民俗博物館が
点在していて、野外活動に恵まれた素晴らしい環境が広がっています。この里山を生かして、誰
もが楽しく集える場所を目指しています。

《運営目標》

「風とんぼ」は、この目的を達成するため、次のような目標を掲げて運営しています。

- 1) 仲間との集団宿泊体験をとおして、人と人が触れ合い、相手を理解しあい、友愛・共同
・規律の精神を養いながら良い人間関係を育む。
- 2) 自然に触れ、自然に親しみ、また自然を探求する活動をとおして、自然の豊かさや厳しさ
自然の営みや自然の大切さに気づくなど、学校や家庭では得がたい体験をする。
- 3) 野外活動やレクレーションあるいは創作活動などをとおして、自発性を發揮し、のびのび
と活動することによって、豊かな感性や生活力や創造力を養い、心身の調和ある発達と
健康の増進を図る。

《運営の方針》

1) 受け入れ事業

「風とんぼ」での活動と体験をとおして、楽しさや喜び、さまざまな教訓を発見し、利用者と
相互の人間関係の促進を図り、各団体の活動がより円滑に進められるよう側面から支持・援助
を行うことを運営の基本とします。

- ① 「風とんぼ」は、可能な限り利用団体の主体性や自主性を尊重します。そのために、利
用者は、現状や事後の指導を見据えた活動目的を明確にして計画の立案に努めてください。
- ② 入念な下見と事前打ち合わせを行い、プログラム及び活動マニュアルの検討・相互の
役割の確認・安全と衛生管理等に努めてください。
- ③ 様々な制約の中、利用者の変化や実情、あるいは時代のニーズ等に応じるため利用者
及び施設職員相互の研修に努めます。

2) 主催事業

風とんぼは、各種の主催事業をとおして、下記の事に努めます。

- ① 当施設での活動の楽しさと意義をより広く知らせる。
- ② 人々との交流を促進する。
- ③ 指導者の養成と利用の促進を図る。
- ④ 風とんぼ運営のあり方や効果的な活動プログラムについて研修する。

施設使用の規則・制限事項

《禁止事項》

- 1) 宿泊室（ロッジ・テントを含む）喫煙及び所定場所以外の喫煙は禁止しています。
- 2) 所定場所以外での火気の使用は禁止しています。
- 3) 各宿泊室・ロッジ・テント内での“蚊取り線香”の使用は禁止しています。
- 4) 施設内及び周辺での物品の販売等は禁止しています。
- 5) 政治的活動・宗教的活動の利用は禁止しています。
- 6) 許可なく旗、幕、看板、張り紙等の掲揚・掲示は禁止しています。
- 7) 鳥獣の捕獲及び草木の採取は禁止しています。
(有害生物や教材として利用する動植物を除く)
- 8) ペットの同伴はご遠慮ください。

《ご協力いただく事項》

- 1) 宿泊室内での飲食はアリ等の害虫発生防止のためできません。
(ロッジ・テント含む)
なお引率者の会議などは 22:30まで本館2階体験室を利用ください。
- 2) 音響機器、楽器演奏は時間や場所、あるいは他団体の利用状況によって制限します。
- 3) 館内でのボール遊びなど、危険な遊戯・遊具の使用を制限します。
- 4) 持込材料による野外自炊については、教育キャンプ場として、食材の安全に気を付けてください。

《間食・夜食について》

- 1) 個々に持たせず、プログラムの一環として時間・場所・内容を計画してください。
- 2) 他団体と同席する場合は、調整させていただくことがあります。

《湯茶について》

- 1) 原則として各団体で湯茶を用意してください。
- 2) 食堂の給湯口から給湯できますので申し出てください。（茶葉は持参）
(お湯は85°C程度です・ヤカンは貸出しきます)
- 3) 引率者の会議などでポット、急須、湯飲みなど必要な場合は貸し出しますので申し出てください。

健康・安全指導と事故防止

《入所前》

- 1) 集団宿泊活動を効果的に行うためには、健康であることが前提です。
- 2) 利用者の健康状態・アレルギー等の把握をお願いします。

《安全指導》

- 1) 殺虫剤（虫よけ除く）は当所で準備しております。必要な場合は事務所に申し出てください。
- 2) 野外での活動は、気象の変化によって事故に結びつく可能性が高くなります。
状況によっては予定していた計画を変更していただく場合があります。

* 野外での活動の場合

- 1) 救急薬品を必ず携帯してください。
- 2) 有害植物（ウルシ、ヌルデ、ハゼノキ）・マムシ・やまびる・ハチなどには充分ご注意ください。

※急病・ケガ 又は、毒ヘビ（マムシなど）にかまれた場合は直ぐに119番に連絡し
その後必ず事務所に連絡してください。 ◎ノロウイルス対応は（P20）参照

* 非常口

- 1) 利用者の方は非常口と避難路を確認してください。
- 2) 入所時、部屋の非常灯をONにし朝まで点灯のままにしておいてください。

《事故防止》

- 1) 活動中のあらゆる事故を想定し事前に指導をしておいてください。

例	<ul style="list-style-type: none">・ベット上段から転落（就寝中も）・宿泊室天井で頭を打つ・窓ガラスの破損・浴室での転倒、給湯蛇口での火傷・物を投げる等
---	--
- 2) 火気は、決められた場所以外では使用しないでください。

***施設や備品の破損は、団体又は、その人で負担願います。**

申し込み手順

《 利用できる団体 》

風とんぼの設置目的に合致した活動プログラム（自然体験・生活体験・野外レクリエーション・創作活動など）を有する団体であること、また団体（上段の利用区分）の他、家族等の少人数（2人以上）のグループでも利用できます。

- 1) 宿泊・食堂利用・入浴のみの利用はできません。
- 2) 政治活動・宗教活動、および営利を目的とした募集事業等には利用できません。
- 3) 引率者（成人）無しでの、宿泊はできません。（16歳未満）

《 問い合わせ 》（窓口または電話）

団体の名称と所在地、希望する日時、人数および主な活動内容をもって利用可能かどうかを確認してください。

《 受付開始日 》

- 1) 通常の利用受付期間

大和郡山市内の団体 ➡ 利用日の3カ月前から7日前まで

市外の団体 ➡ 利用日の2カ月前から7日前まで

- 2) 夏休み利用受付期間

4月1日 午前9時から

（4月1日が休所日の場合は翌日の午前9時から）

- 3) 小・中学校の教育課程に基づく宿泊学習および大和郡山市教育委員会の主催事業等は優先して受け付けます。

《 利用のできない日 》

- 1) 毎週月曜日
- 2) 国民の祝日の翌日（月曜日が祝日の場合は、月・火曜日が休所日）
- 3) 12月28日～1月4日

* 変更する場合がありますので、詳細についてはお問い合わせください。

受付と事前打ち合わせ

《受付》

施設利用申請（原則として窓口での先着順）

- ① 団体の名称と所在地及び代表者の住所・氏名・電話番号
- ② 利用目的
- ③ 利用日時（入所・退所の予定時刻）
- ④ 利用区分と利用人数（予定人数）
- ⑤ 希望する主な活動内容
- ⑥ 事前打ち合わせと下見の日時
 - ◇ 施設の概要説明を受け、必要な書類を受け取ってください。
 - ◇ 利用計画が立案されている場合は、この時点で事前打ち合わせや下見を済ませることができます。（所要時間およそ1時間半）

《事前打ち合わせと下見》

1) 事前打ち合わせ（利用の1ヶ月前を目安とします）

入所から退所までの活動内容と日程を確定します。

宿泊室・食事・入浴・清掃分担・活動場所・準備物・諸注意事項および役割分担等を確定します。

- ① 利用区分と利用人数（男女別）の確定
- ② 細部日程表と活動内容及び活動場所の決定（晴天用・雨天用）
- ③ 各活動における役割分担と準備物および留意事項の確認
- ④ 宿泊・清掃・食事・入浴等の割り当て
- ⑤ 各申請の説明
- ⑥ 施設使用の規則および制限事項の確認
- ⑦ その他：団体の持ち物・個人の持ち物・駐車場・引率者の休憩場所と時間・会計支払いの方法などの確認

2) 下見

館内および野外施設、冒険コース、ハイキング、オリエンテーリングコースを下見し安全指導計画をたててください。

* 事前研修は別途、企画・申請をしてください。

入所から退所まで

《利用当日の打合せ》(入所20分前)

- 1) 書類提出（利用許可申請書・利用者名簿・活動プログラム等）
- 2) 天候等による活動内容の変更の有無の確認
- 3) 人数・数量の実数確認（シーツ枚数・クラフト材料数）
- 4) 他団体との調整

《入所時》

- 1) 入所式は各々の団体で自主的に行ってください。要請があれば職員が出席します。
(集いの広場または玄関ピロティーで行ってください。)
- 2) 入所オリエンテーションを受けてください。
(安全・衛生、施設使用上の注意とマナーについて職員が説明します。)

《活動》

- 1) プログラムオリエンテーション（不慣れな活動プログラムについては、施設・用具の使い方や活動の進め方等について職員の指導と支援を要請してください。）
- 2) 用具・設備を大切に扱ってください。貸出・返却・点検は職員が立ち会います。
- 3) 活動の終了や傷病の有無と処置について確認してください。

《食堂利用》

- 1) 食事は提供しておりません。
契約業者に直接申し込んでいただくか持参してください。
- 2) 128席（8テーブル）です。
- 3) 手拭き用タオルを持参してください。
- 4) 団体ごとに所定の時間内に食事を取ってください。
- 5) セルフサービスです。配膳と後片付けを行ってください。
- 6) 食堂利用の安全、衛生管理と後片付け要領について、職員が説明します。

《 入 浴 》

- 1) 一度に利用できる人数は、男女とも25人です。
- 2) 入浴時間は 17:00~21:00 交代制です。
(団体ごとに所定の時間内に済ませてください)
- *シャンプー、石鹼、タオルは各自で持参してください。

	宿泊人数 25人以上	10~24人	2~9人
本館	男女浴槽お湯張り	1つの浴槽のみお湯張り	お湯シャワーのみ
ロッジ	お湯シャワーのみ		水シャワーのみ
テント	水シャワーのみ（他団体の本館利用の状況により空き時間の利用のみ）		

※ 家族利用等少人数の場合は相談して下さい。

《 朝 夕 の 集 い 》

- 1) 団体で企画、進行してください。形式は定めていません。
- 2) 所旗、マイク、CDデッキ、ラジオ体操のCDなど貸出できます。
- 3) 複数重複する場合は打ち合わせで調整させていただきます。
- 4) 雨天はレクレーションホール・体験室等をご利用ください。

《 退 所 準 備 》

- 1) 宿泊者は清掃をすませて、午前9時までに職員の点検を受けルームアウトしてください。 (P9 参照)
- 2) 利用施設の清掃点検は退所式前に行ってください。 (宿泊・日帰り共通)
- 3) その後職員が点検をしますので事務所に連絡ください。
- 4) 料金の支払い
利用料とその他料金の支払いを済ませてください。

《 退 所 式 》

各々の団体で自主的に行ってください。要請があれば職員が出席します。
(集いの広場、玄関ピロティー等で行ってください。)

持ち物及び服装について

《団体の携行品》

- 1) 利用許可申請と名簿
- 2) 諸申請書の控え（クラフト・燃料・飲み物申込書など）
- 3) しおり（日程表・班編成・係分担など ⇒ 参考例 別紙あり）
- 4) 団体旗（有無は問いません）
- 5) 応急用品類、健康保険証控えなど
- 6) ゴミ袋（P9 ゴミ処理について欄参照）
- 7) 各活動プログラムに必要な物品
◇ ロッジには液体蚊取り器を設置しています。
- 8) 上靴

なまえを忘れずに
書いてね !!

《個人の持ち物》

- 1) 雨天時に備えた、雨具（カサ・カッパどちらも）及び着替えを準備してください。
 - 2) 館内の活動は上靴（スリッパ不可）で行ってください。
(雨天にそなえ必ずご準備ください。)
 - 3) 標準の持ち物（日帰り利用）
上靴、雨具、タオル、帽子、作業用手袋（綿の軍手）、虫よけ、虫刺され薬、弁当、水筒、筆記用具など必要な物
- ▲宿泊される方（日帰り持ち物に追加するもの）
着替え一式、洗面用具、石鹼、シャンプー、懐中電灯など必要な物

《服装》

- 1) 野外活動では、長袖・長ズボンが望ましいです。
また、帽子や作業用手袋を着用してください。
- 2) 蜂が多いので黒っぽい服は避けた方が望ましいです。

《持ち込んではいけない物》

- ① 酒類 ② 危険な火気（花火・ガス・蚊取り線香など） ③ ガム ④ カン・ピン類
- ⑤ 電動のこぎり等 ⑥ ローラースケート・スケートボードの類 ⑦ ゲーム機
- ⑧ ドライヤー・炊飯器等大量に電力を消費するもの
- ⑨ エンジン付用具 ⑩ 不明な時は施設と相談して下さい。

清掃とゴミ処理について

【清掃の要領】

1) 宿泊室

- ・ベッドの中のゴミを処理する。
- ・マット、しきふとん、シーツ、毛布、まくらの整とんをする。 (P11 参照)
- ・たたみと入り口のゴミをはき取る。
- ・ゴミ入れに集めたものを、宿泊棟中央のゴミ箱に集める。

2) 廊下および広間

- ・ほうきでゴミをはき取る。
- ・掃除用具を整とんする。

3) トイレ

- ・手で拾えるゴミや落とし物があれば処理する。
- ・流し忘れがあれば流しておく。
- ・スリッパを整とんする。

4) 浴場（洗面台を含む）

- ・手で拾えるゴミや落とし物があれば処理する。
- ・イスとオケを整とんする。
- ・脱衣場の忘れ物を処理する。

5) 野外

- ・自炊のゴミは、ゴミ袋に入れてゴミ集積場に運ぶ。
- ・キャンプファイヤー場の残炭は一晩置き翌朝処理する。
(スコップ・バケツ等は第1ファイヤー場の用具入れ) (P15 参照)
- ・手で拾えるゴミや落とし物があれば処理する。

6) ロッジ

- ・ほうきでゴミをはき取り、一ヶ所に集めてから処理する。

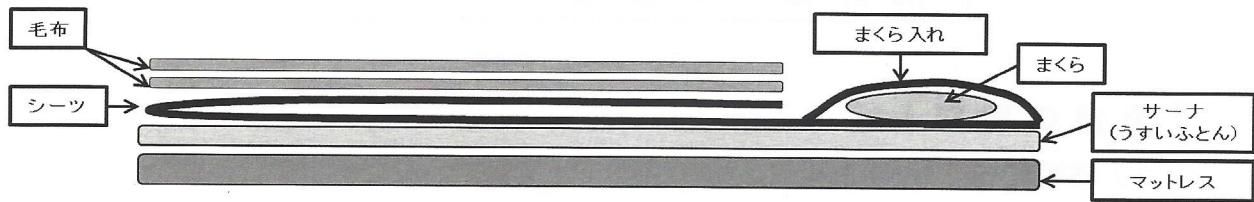
7) テント

- ・ほうきでゴミをはき取り、一ヶ所に集めてから処理する。

【ゴミの処理について】

- 1) 施設配置図によって、ゴミ集積場を確認してください。
- 2) ゴミ袋（白と黒）を持参してください。 (当施設にて販売しています。)

ベッドの作り方



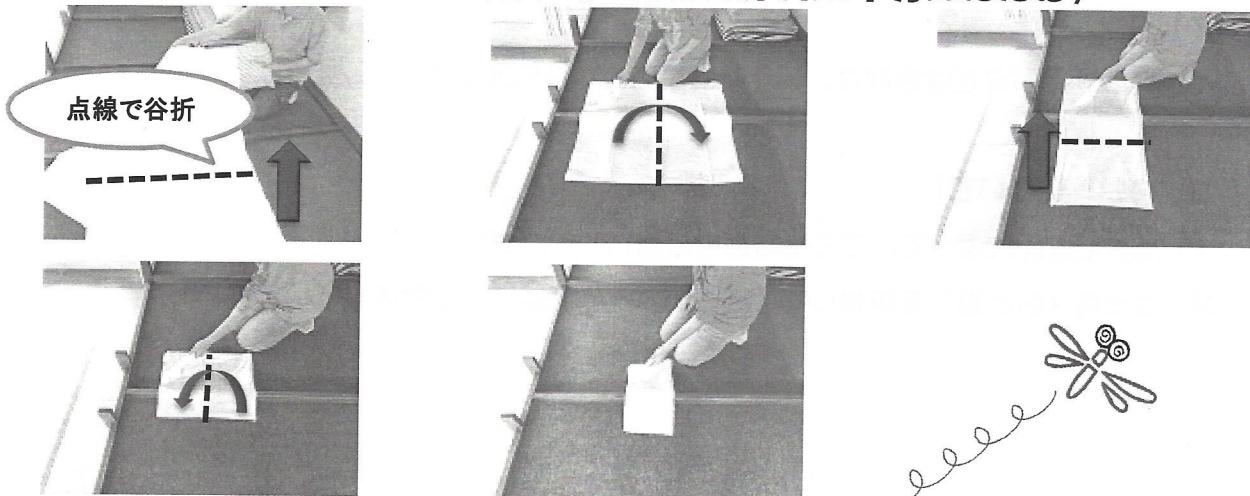
- ①シーツのまくら入れにまくらを入れる
- ②シーツとシーツの間にあって、体が寝具に触れないように寝ます。

*衛生管理・寝具の清潔のために、
必ずシーツを使いましょう！

シーツのとりあつかい

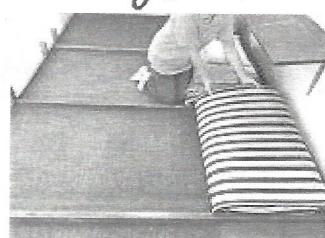
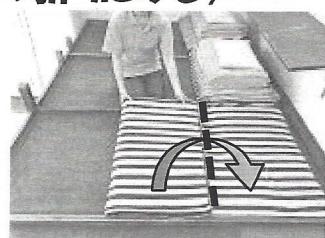
シーツの受け取り場所…3Fリネン庫前
シーツを返す場所…1Fロビー
コンテナを返す場所…3Fリネン庫前

シーツを返す時のたたみ方(4回半分にたたむ)

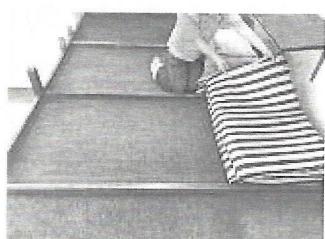
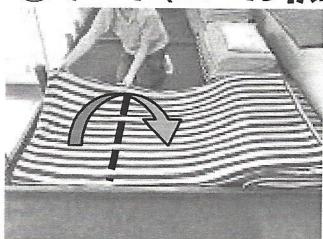


寝具のたたみ方

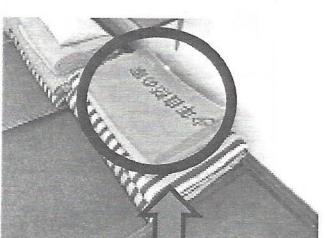
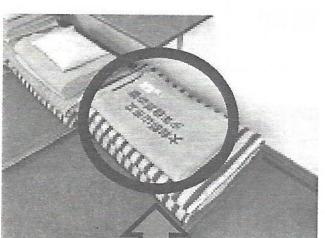
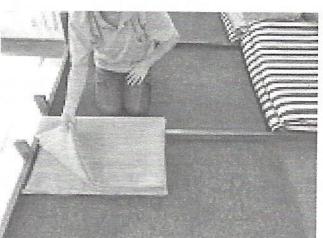
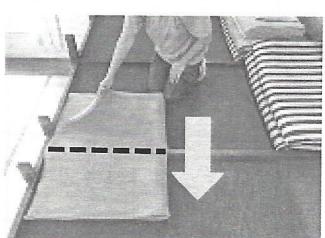
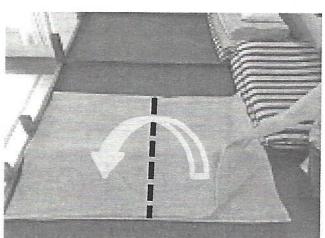
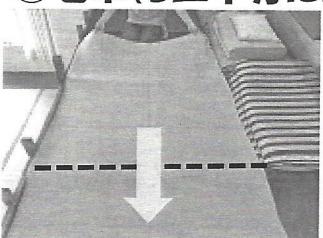
①マットレス(ロール状に三つ折りにする)



②サーナ(ロール状に三つ折りにする)



③毛布(3回半分にたたむ)

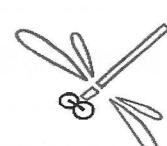


④まくら



自然の家の文字が見えるように！

毛布2枚
うすいふとん(サーナ)
マットレス



主な活動プログラム紹介

《野外活動・レクレーション》

野 外 自 炊	3 時間～	カレー以外のメニューもお試しください 15 釜 150 人程度
冒険コース	1 時間～	14 ポイント、側道があるので能力に合わせて活動できます
ハイキング	2 時間～	目的や活動時間にあったコースがあります
自然観察	1 時間～	ルーペ、双眼鏡の貸し出しができます
オリエンテーリング	2 時間～	14 ポスト オリジナルの工夫もできます
グリーンオル	2 時間～	代表的な常緑樹のポイントを巡ります
ウォークラリー	2 時間～	コマ地図を使ってコースを巡ります
フィールドワーク	2 時間～	ポイントの課題をクリアしてコースを巡ります
肝 試 し	1.5～2 時間	風とんぼ敷地内で暗がり、夜の気配を体験します
キャンプファイヤー	1.5～2 時間	火を囲み、歌・踊り・ゲームや寸劇を楽しみ友情を育みます
キャンドルの集い	1.5～2 時間	ローソクの火を囲み、歌・踊り・ゲームや寸劇を楽しめます
いろりファイヤー	1.5～2 時間	いろりを囲んで語らい、友情を育みます
室内レクレーション	0.5 時間～	雨天時の活動として、歌やゲームを楽しめます
里山ビンゴ	30 分～	自然観察・新聞紙工作等、空き時間に合わせて活動できます。全部クリアするには 2 時間
テントクラフト	2 時間～	家型テント（6 張り）の貸し出しができます
民俗博物館見学	1 時間～	徒歩 5 分で隣接、民具展示など
民俗公園散策	1 時間～	旧民家 15 棟移築展示、季節の花が楽しめます

《創作活動》

活動内容	所要時間	対象	価格	備考
焼き板	2 時間～	低学年	400 円	各種動物デザインより選択
紙ひもコマ	1 時間～	低学年	50 円	着色用にマジック持参
万華鏡	1 時間	低学年	400 円	鏡の不思議を体感できます
折り染	1 時間～	低学年	50 円	和紙に赤・青・黄色の三色で染色の不思議を楽しめます
葉っぱスタンプ	2 時間～	低学年	500 円	アクリル絵の具を使って葉っぱの葉脈をエコバックに写します
草木染	2 時間～	低学年	300 円	ハンカチを輪ゴムでしばり、玉ねぎの皮で染めます
切り紙	1 時間～	低学年	50 円	ハサミで雪形・星形などに切り抜きラミネート加工で仕上げ
絵付け	1 時間～	低学年	600 円	焼き物に水彩絵の具（持参）で着色します
勾玉作り	2 時間～	中学年	400 円	ペンダント型、自由なデザインで楽しむことができます
カラコロ	2 時間～	中学年	500 円	木片の組み合わせで音を楽しめます

《野外料理》

ピザ	2 時間～	高学年	指導料要	耐火レンガを組んでピザ窯作り
棒パン	2 時間～	高学年	指導料要	生地をこね棒に巻き焼きます
段ボール箱燻製	1 時間～	高学年	500 円	ソーセージ等を燻製にします
段ボール箱ケーキ	2 時間～	高学年	500 円	蒸しパン・パウンドケーキなど
かぐや姫ご飯	2 時間～	高学年	500 円	竹の中に米を入れかまどで炊きます

*その他ミニクラフト・野外料理等のプログラムがあります。

*指導を希望される場合は指導者 1 名 1500 円が必要です。

*年令・人数により対応できないことがあります。

*食材は持ち込みでお願いいたします。

*詳しい内容は、**打ち合わせ時にご相談ください。**

《施設の概要》

	施設名	定員	数
宿泊部門	本館	大部屋ベット たたみ	22人 10人
		小部屋	14人
		スタッフルーム	6人
		合計	220人
	ロッジ	ちふれ	6人
		オオルリ	4人
		こまどり	5人
		うぐいす	1F6人 2F5人
		やまとどり	11人
		キジバト	4人
		ほととぎす	1F6人 2F5人
		合計	52人
	テント	6人	6張
	合計	36人	

	施設名	定員	数
生活部門	食堂	128人	1室
	浴室	25人	2室
	3F男	10人	
	3F女	10人	
	3F障害者	1人	
	2F男	2人	
	2F女	2人	
	1F障害者	1人	
	自炊場トイレ	4人	
	創作棟前トイレ	2人	
	語らい広場	20人	

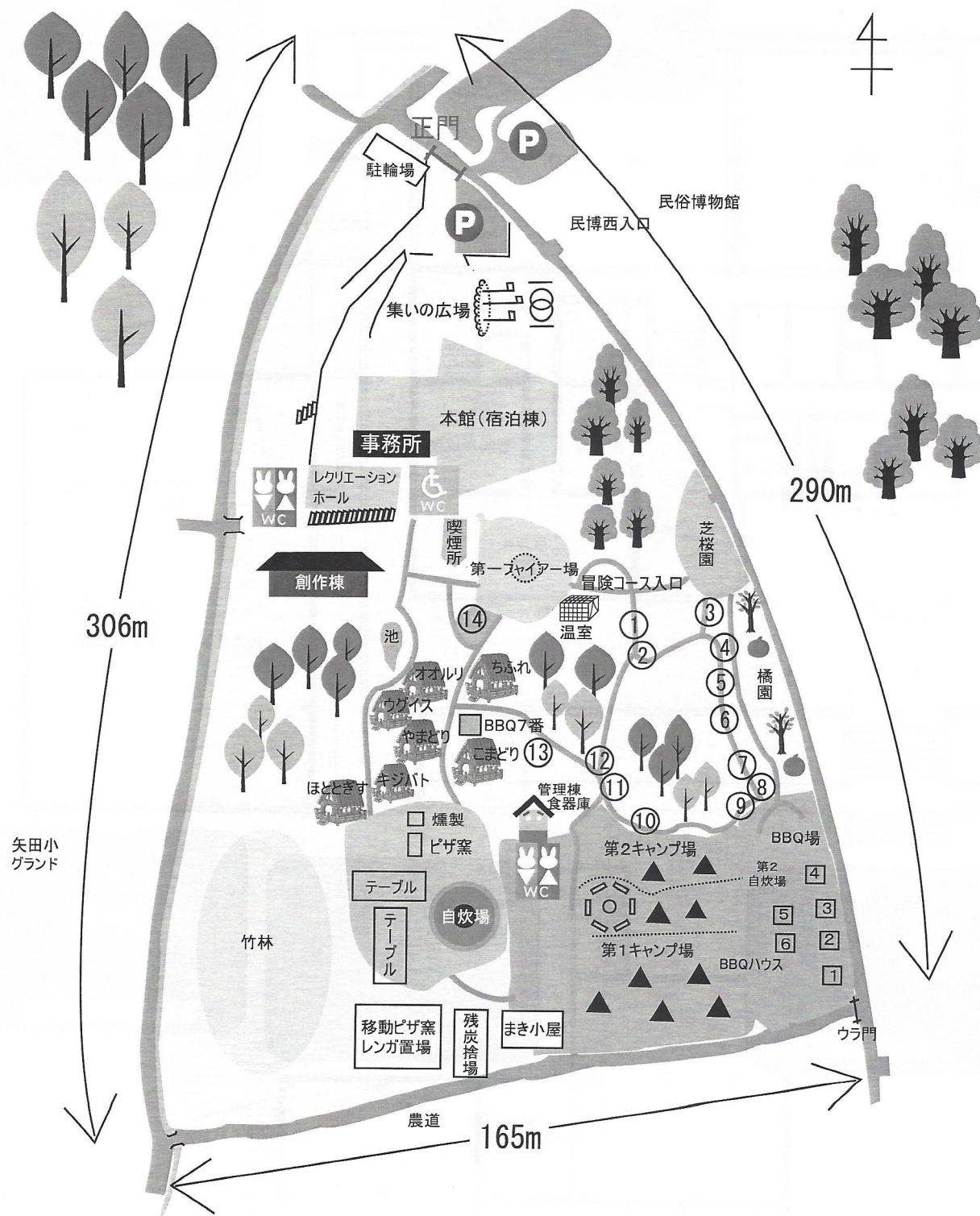
	レクレーションホール	150人	
活動部門	体験室	60人	
	話し合い広間	40人	
	クラフトルーム(1)木工	36人	
	クラフトルーム(2)陶芸	20人	
	クラフトルーム(3)金工	50人	

野外活動部門	キャンプファイヤー場(1)	150人	
	キャンプファイヤー場(2)	80人	
	野外自炊場	150人	
	集いの広場	200人	
	冒険コース	14ポイント	

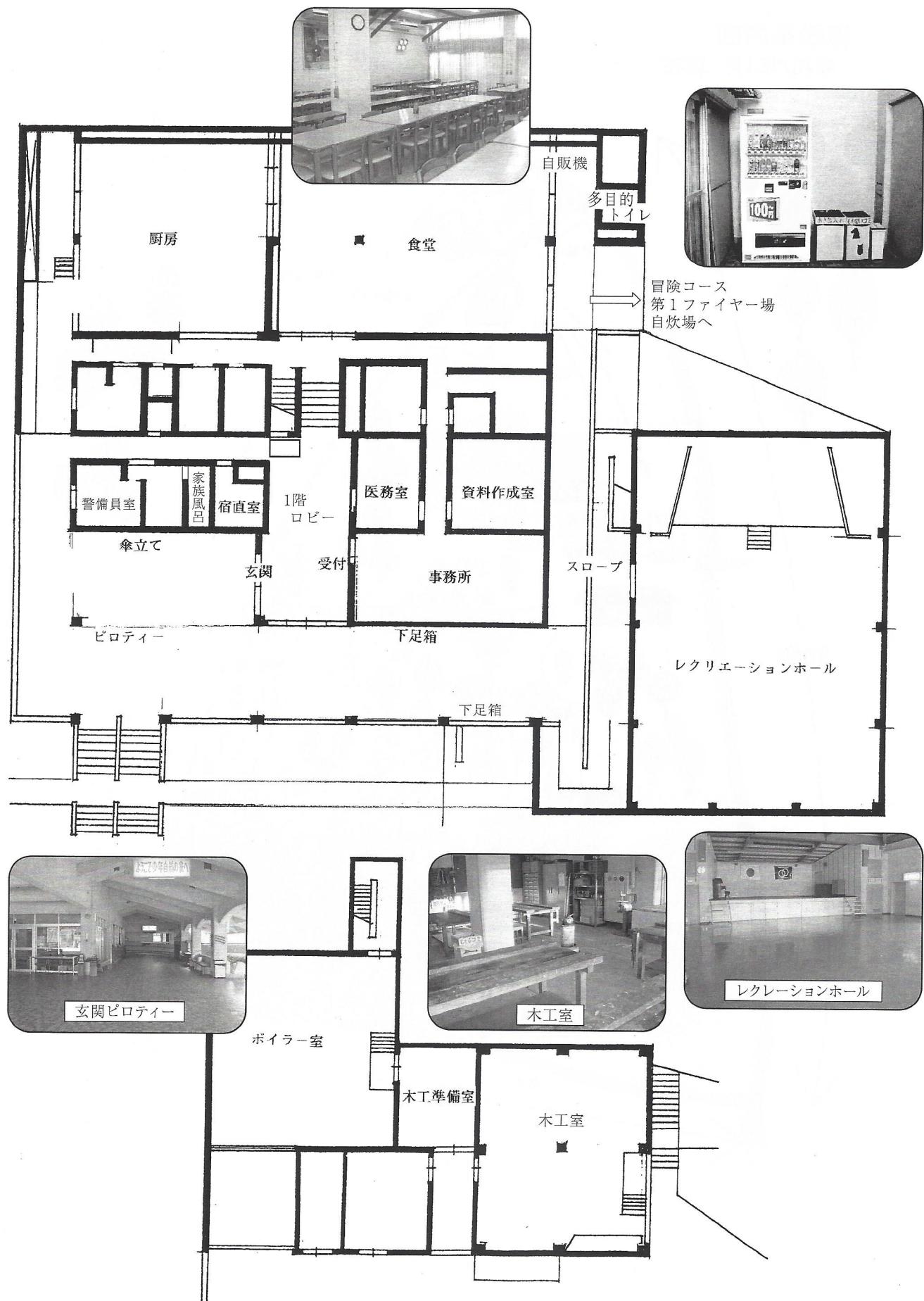
◎友だち広場屋根なし
 ◎野外自炊場ドーナツ型屋根付き
 ◎野外自炊場の調理・食卓台は屋根つき
 (約100人収容、雨天可)

施設案内図
令和2年4月 現在

4

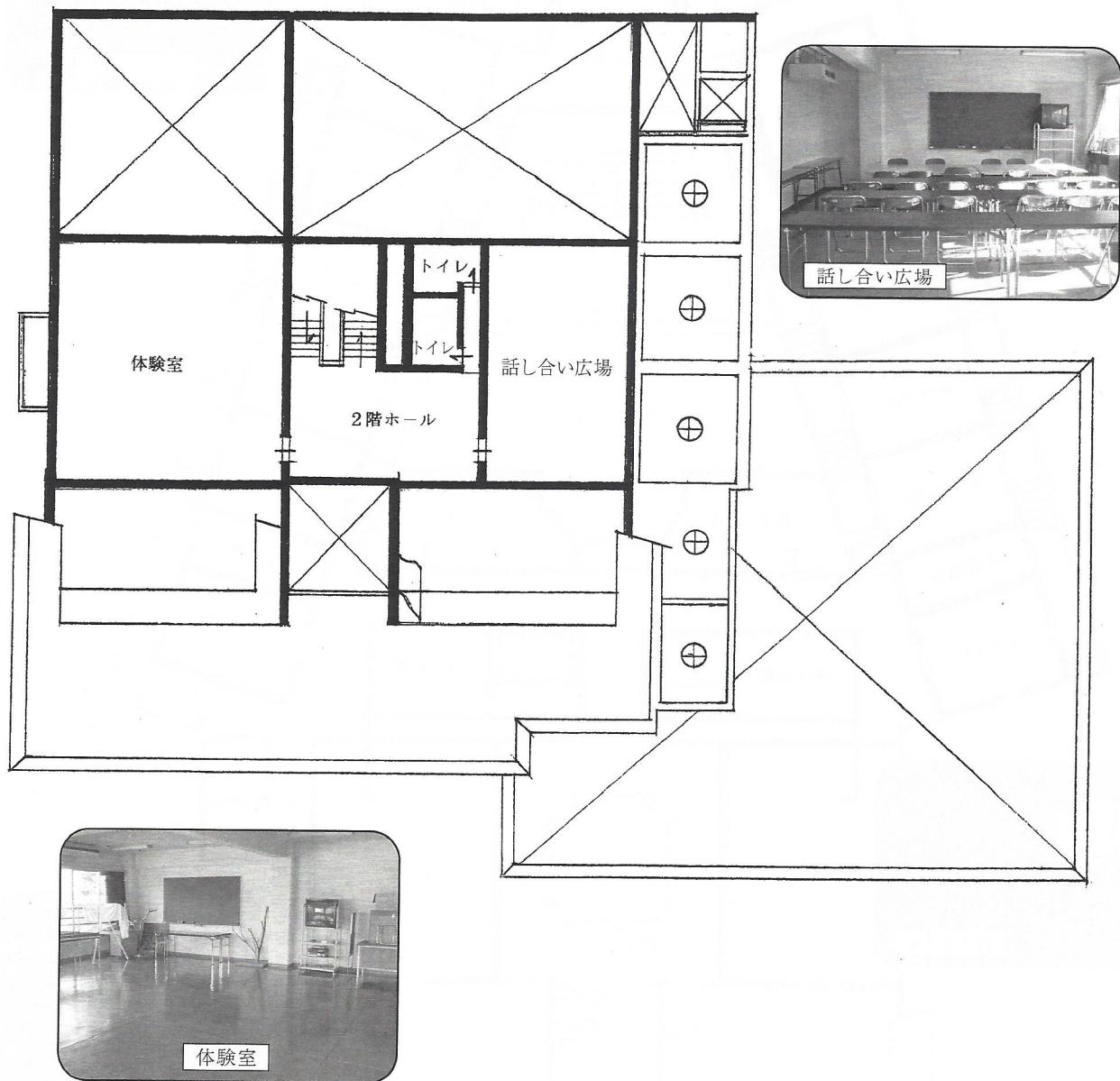


《平面図：1F・地階》

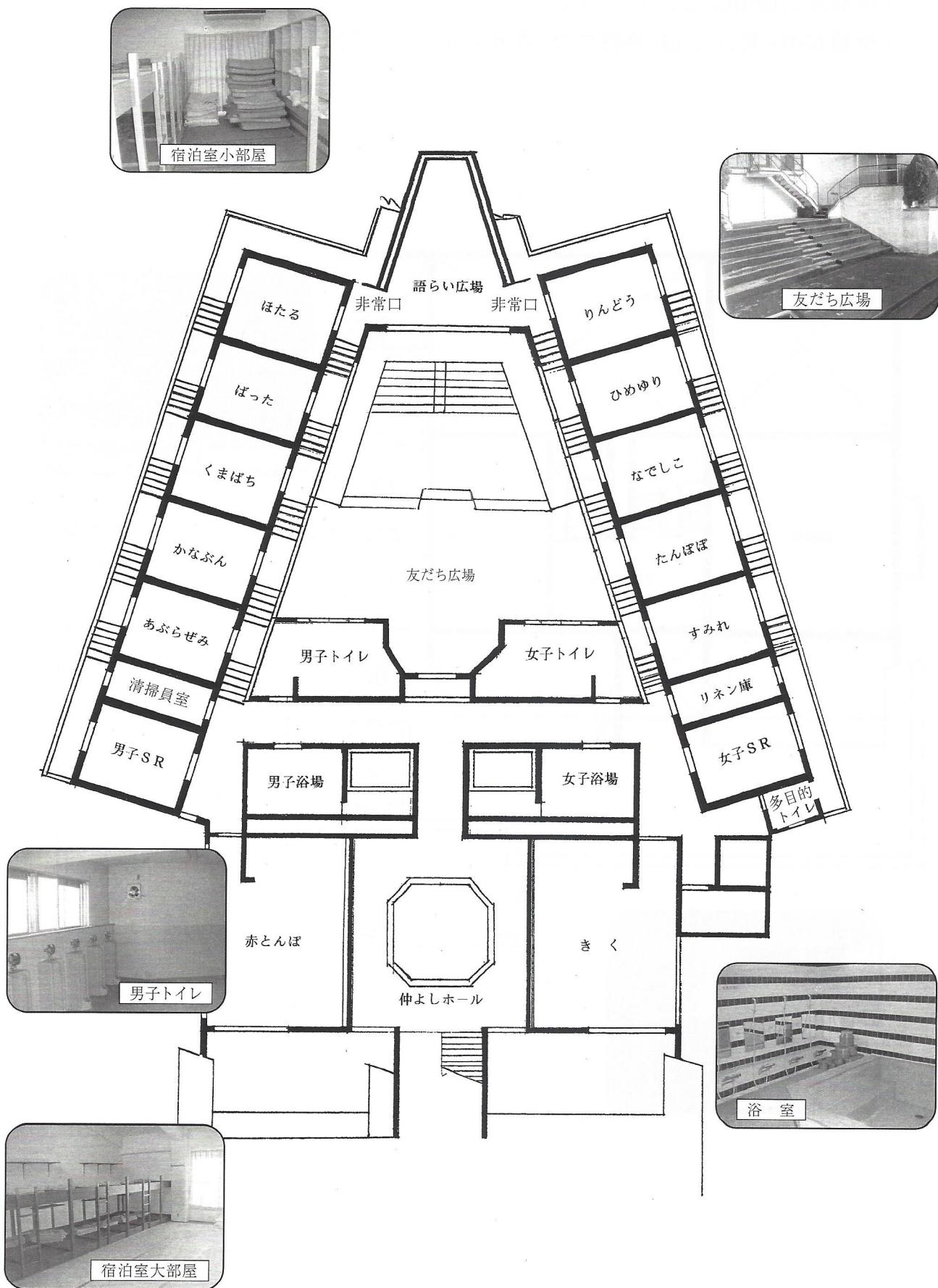


《平面図：2F》

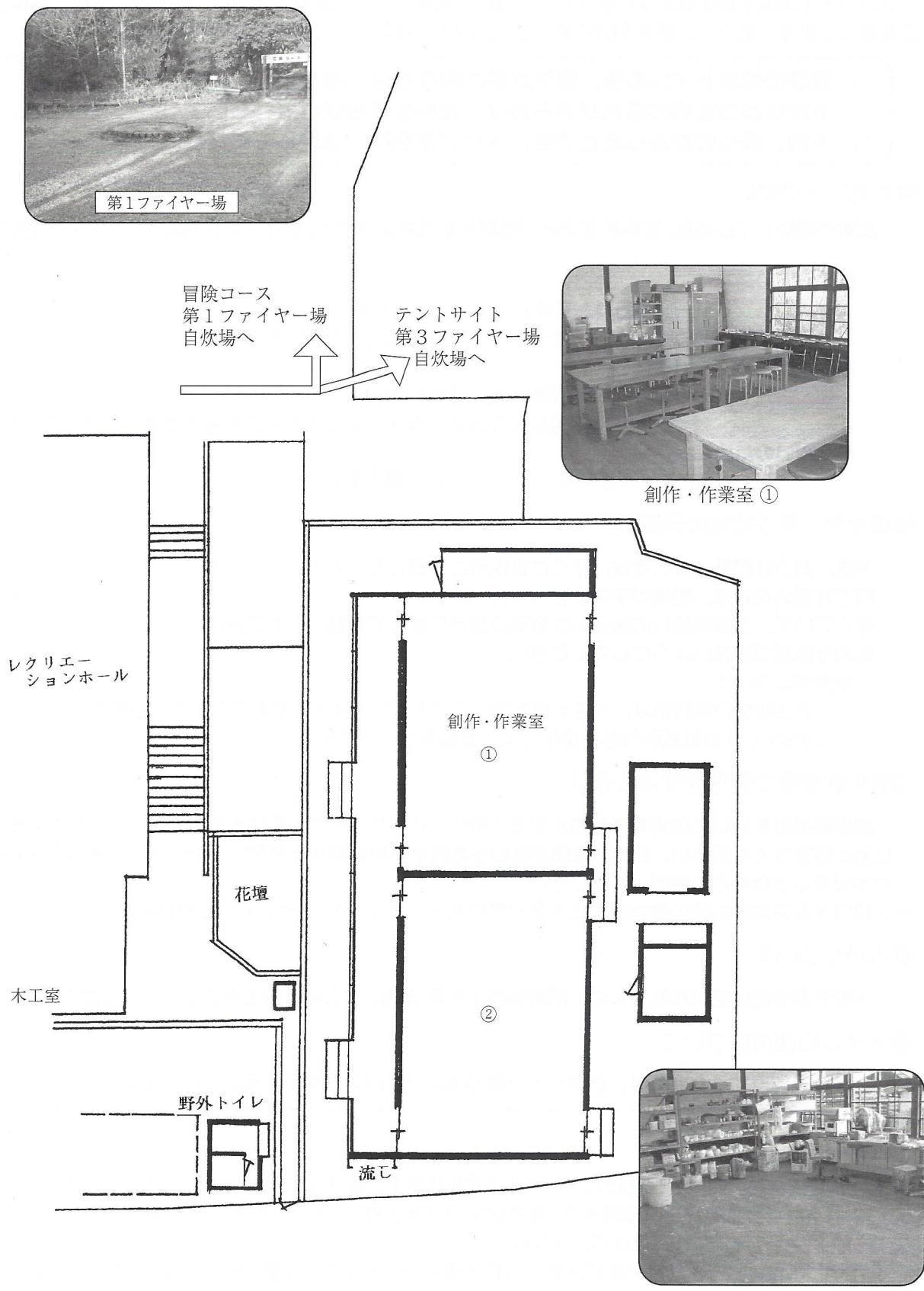
- ◇ 体験室の使用は、22:30で終了してください。
- ◇ 体験室の「流し」には、茶殻やゴミを捨てないでください。



《平面図：3F》



《平面図：創作棟》



ノロウイルス等の感染を予防するために

～利用者のみなさまへ～

ノロウイルスは手指や食品などを介して、経口で感染し、人の腸管で増殖し、おう吐、下痢、腹痛などを起こします。従って、感染予防対策として、以下の点について留意されるようお願いします。

- 食事の前やトイレの後、野外炊事の時などは、必ず手を洗いましょう。
- 下痢やおう吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱わないようにしましょう。
- 下痢、おう吐があったときは、すぐに事務所に連絡してください。

◎手洗い・うがい

食事の前やトイレの後、野外炊事などで調理をする前などには、必ず手を洗うようにしてください。

●手洗いの基本

- ① ハンドソープや石けんを使い、十分にこすり洗いをしましょう。
- ② 手洗い後の手拭き用タオルやハンカチは個人用のものを利用しましょう。

●汚れが残りやすいところ

- ・指先やつめの間 ・指の間 ・親指のまわり ・手首 ・手のしわ

※ 各トイレに掲示してある、流水による手洗いの手順を参考にしてください。

●うがいのために

- ・ うがい用のコップを用意してください。(個人用)

◎排泄物・おう吐物の処理

下痢、おう吐があったときは、すぐに事務所に連絡してください。

おう吐物の処理は、職員が手順に従って行います。

近くにいて、汚染の恐れのある人は職員の指示に従って行動してください。

他の方は近づかないようにしてください。

●換気について

おう吐物の処理後は、大きく窓を開けるなどして、室内に新鮮な空気を入れ換気を行なってください。(換気扇等のある場所では、運転をしてください)

◎野外炊事等で調理をするときは

調理者の手を介しての食中毒を防止するために、ハンドソープや石けんで、十分にこすり洗いをしたあと行なってください。また、調理が終わった後は、炊事道具を洗剤で十分に洗い、清潔なふきんで水分をしっかりとふき取ってください。

*ノロウイルスは他の微生物などと比べると熱に強く、85℃で1分以上の加熱が必要です。

◎入浴について

下痢やおう吐の症状がある人は、感染を防止するために、入浴を控えるようにしてください。

◎トイレの使用について

トイレを利用するときには、必ずトイレ専用のスリッパに履き替えるようにしてください。

お願い

利用前に、事前の健康観察を行い、参加者の健康状態を把握するようにしてください。下痢、おう吐などの体調不良を訴える方がいる場合は、医療機関で診察を受け、医師の判断のもと参加するようにしてください。爪を切り清潔にしておいてください。

利用中に下痢・おう吐などの症状があらわれた場合は、すみやかに事務所まで申し出て、できるだけ早く医療機関で診察を受けるようにしてください。

利用後に、複数の参加者に症状が出た場合は、里山の駅「風とんぼ」までご連絡ください。

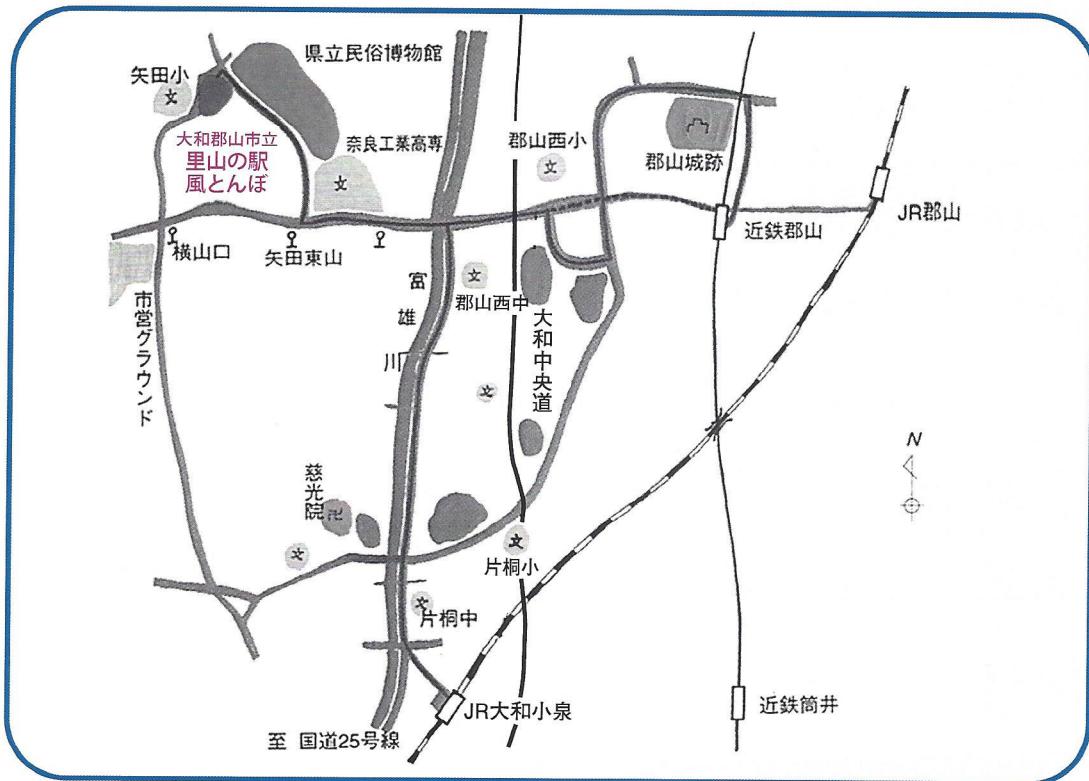
《別紙一覧》

表タイトル	提出期限	提出先
利用のながれ・利用するには		
施設利用（仮）申請書（兼打合せ台帳）	受付時	
大和郡山市立里山の駅「風とんぼ」利用許可申請書	利用当日	
施設利用者名簿	利用当日	
飲み物・燃料・クラフト・野外料理等申込書	3週間前 FAX	風とんぼ事務所
物品借用書	2週間前 FAX	
班別活動・係活動について（参考例）		
野外炊の持ち物と注意事項		
冒険コース資料		
活動プログラム資料 *1		
BBQ 資料・申込書	2週間前 FAX	風とんぼ事務所
飲み物一覧		
お弁当資料（ナフス株式会社）	各業者と 打ちわせ ください	各業者に 申し込んで ください

* 1 野外活動、野外料理、創作活動の詳細資料などは打ち合わせ時にご請求ください。

各活動の準備物、価格などは年度途中でも変更になることがあります。

交通案内図



◆車でお越しの場合

第二阪奈道中町インターより	12分
西名阪自動車道大和まほろばETC専用インターより	15分
西名阪自動車道郡山インターより	20分
京奈和自動車道木津料金所から	25分
橿原線近鉄郡山駅よりタクシーで	15分



◆奈良交通バスをご利用の場合

近鉄橿原線近鉄郡山駅より JR小泉駅東口行き・矢田寺・泉原行き 約15~20分
 JR大和路線大和小泉駅より 近鉄郡山駅行き 約17分
 *矢田東山下車 徒歩15分



◆徒歩

近鉄郡山駅 徒歩45分

大和郡山市立
里山の駅
野外活動センター

風とんぼ

〒639-1058 大和郡山市矢田町574番地

TEL 0743-53-7290

FAX 0743-53-7203

令和3年3月改訂